



デジタル教科書を使った授業の様子



佐良山小学校2年生  
平岡亜依さん

映し出されたものにデジタルペンで線が引けて面白いです。授業がとても分かりやすいので、よく手を挙げて発表しています。

**「分かりやすく楽しい」ことが子どもにも好評**  
デジタル教科書は、大きなスクリーンを使うので、子どもたちはどんな授業が始まるのだろうと、興味を持ってくれます。興味や関心を持って学習することは、学力の向上に結び付きます。図を拡大させたり動画を映したりするなど、視覚効果が高い時に使うようにしています。  
しかし、デジタル教科書ばかりで授業を進めると、子どもたちの書く量が減ってきます。手先の感覚と脳が連携することで学習効果が高まるので、書くという活動は、これからも大切にしたいです。  
デジタル教科書の利点を生かしつつ、実物を使って作業をするなど、それぞれの学習方法の良さを意識して、授業を進めていきたいです。



佐良山小学校教諭  
山崎隆行さん



元気良く手を挙げる林田小学校2年生



グループで英語を学ぶ久米中学校2年生

津山っ子のICT教育

今日はどんな授業かな？

デジタル教科書で

楽しく学習



指導用タブレットパソコンを使ってスクリーンに映し出す様子

授業が視覚的に分かりやすくなる「デジタル教科書」や、「プロジェクト」「指導用タブレットパソコン」「無線LAN」などのICT(情報通信技術)機器。市内の学校でも、平成29年度から本格的に導入を開始し、すべての小中学校の授業で活用できるように進めています。  
授業でICT機器をどのように使っているか、どう役に立つのかを紹介します。

図学校教育課 ☎ 32-2115

**考える力が身に付いてきていると実感**

デジタル教科書を使い、教材を短時間で提示することで、課題に対して生徒たちが考える時間を多く確保することができ、自分たちで考え、分析し、解決する力を生徒たちに身に付けてほしいです。  
デジタル教科書の画面を早く進めてしまうと、授業についていけない生徒が出てくるので、映し出す画面を多くせず、できるだけゆっくり進めるように気を付けています。  
また、生徒たちの表情で理解の進み具合を感じ取り、前の画面に戻って反復学習をすることもあります。今後、活用方法を工夫して、生徒たちの学力の向上に取り組んでいきます。



デジタル教科書に書き込む生徒



中道中学校2年生  
大町悠真さん

スクリーンに映し出されたグラフや図形などを見て、グループで話し合い、答えを導き出す授業が好きです。



中道中学校指導教諭  
近藤圭亮さん

教えて! げんぼくん “デジタル教科書” ってなあに?

子どもたちが持っている紙の教科書と同じ内容を、スクリーンに大きく映し出して説明するためのものだよ。文字を拡大して見せたり、ページの一部分を大きく映したりすることができ、どこを見れば良いか分かりやすくなるんだ。  
また、英語の発音を聴いたり、立体の図形を画面上で回転させたりすることもでき、子どもたちが視覚的に理解しやすくなる仕組みだよ。



学力向上シンボルキャラクター  
げんぼくん

津山っ子の「基礎学力の定着」を進めていきます!

ICT機器を使って学習する内容を見やすくし、子どもたちが主体的に考え、意欲的に学ぶ授業づくりを進めています。  
未来を切り拓く津山っ子を育てていくため、ICT機器の活用を含め、時代の変化に合わせた授業づくりに取り組んでいきます。

